

地域密着 介護・医療DX人材育成プログラムを開催します

— 文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」 —

千葉大学医学部附属病院（千葉市中央区：病院長 横手幸太郎）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用構造の転換が進展する中で、非正規雇用労働者、失業者、希望する就職ができていない若者等の支援を目的とした、文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」を受託し、このたび『地域密着 介護・医療DX人材育成プログラム』を開催します。（募集期間：9月27日～10月26日、開催期間：11月10日～1月9日）

当院患者支援部では、本プログラムを通じて、他職種からの就職・転職が進まず、慢性的な人手不足にある医療・介護職への人手不足解消、超高齢社会において連携の必要性がある医療/介護/地域のコーディネーター人材の育成、介護医療DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進出来る人材の育成を目的に、これまで医療・介護の経験がなくとも、新しい視点で医療・介護業界を支えることができる人材を育てることを目的として開催します。

本プログラムは、求職者向けの講座、介護事業者に向けての新規人材開拓に関するコンサルティングから人材マッチング・就職後のサポートまで、入口から出口まで一貫したプログラムとなっています。

講義内容は医療介護の基礎知識・現場の課題と解決のためのテクノロジー活用実習・患者と医療者を繋ぐためのメディエーション研究・地域医療資源を繋ぐためのIPE講座・就職のための基本スキルアピール方法など120時間の内容となっており、本年11月から1月上旬に開催します。

これまで医療介護業界に経験のない人、これまでの医療介護領域から次世代の医療介護を見据えてレベルアップしたい人まで、広く学べる講座になっています。

なお、本教育訓練プログラムは、失業者対策教育訓練プログラムとしてハローワークを通じて講習生には職業訓練受講給付金が支払われ（給付金対象の条件を満たす受講生に限る）、教育訓練後は就職支援を行ってまいります。

■ 竹内 公一 患者支援部長（プログラム責任者）のコメント



このたび、文部科学省の事業により医療・介護業界への求職・転職希望者を応援する教育訓練プログラムを開催することとなりました。

新たなステージとして医療・介護業界への就職・転職を目指している人が就職後も未長く働くための知識・技術を2ヶ月間120時間の講義で提供いたします。

<取材のお申込み・お問い合わせ先>

千葉大学病院 病院広報室

Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830 E-mail : byoin-koho@chiba-u.jp

■主な教育プログラム

授 業 範 囲	講 義 項 目
	今の医療・介護の課題と今求められているもの
	就職に向けての心構え
1 医療・介護業界の基礎知識を学ぶ	1-1 日本の医療・介護保険制度の歴史（今の日本の医療・介護制度はどのようにかわってきたのか？） 1-2 医療介護で働くために求められる資質（医療介護で働くために重要な倫理） 1-3 病院での仕事 1-4 医療・介護業界で働くために知っておきたい法律
2 地域密着ケアを支えるケアサービスを学ぶ	2-1 ケアマネジャーの地域での働きは何か 2-2 在宅支援診療所とは 2-3 訪問看護ステーションの業務は何か 2-4 地域における薬局の仕事とは何か 2-5 在宅医療を支える技術1 食べることを支える（嚥下・口腔ケア） 2-6 在宅医療を支える技術2 在宅リハビリテーション 2-7 地域で知的障害者を支える 2-8 地域を支える病院と地域を支えるケアの専門家の関係性を考える
3 患者・利用者の支援のあり方を学ぶ（患者利用者中心の医療介護）	3-1 患者・利用者の生活機能（身体機能・生活活動・社会）をトータルにチェックするICFについて学ぶ 3-2 患者・利用者の自立をどう支えるのか？自立にむけた生活動作の支援のありかたを体験する 3-3 介護者も非介護者もからだに負担のない移乗介護を学ぶ 3-4 認知症の人への支援方法を学ぶ 3-5 最期まで生活の質を下げないための緩和ケアの基本的な知識を学ぶ 3-6 患者さんが主体に将来の医療及びケアについて考えるACPについて学ぶ
4 医療介護を支える技術のあり方を学ぶ	4-1 科学的介護情報システム（LIFE）を学ぶ 4-2 生活動作を支える道具について学ぶ 4-3 ノーリフトケアを学ぶ（実習含む） 4-4 認知症を支えるシステムについて学ぶ 4-5 地域連携を支えるシステム連携（個人情報等）医介連携・遠隔見守りについて学ぶ 4-6 介護ロボット導入のために行うべきプロセスを学ぶ（実習込み） 4-7 地域活動について学ぶ（ICTを導入し介護・地域活性を行っている現場を見学する。） 4-8 病院内システムについて学ぶ
5 コミュニケーション技術を磨く	5-1 メディエーション（患者・利用者と医療・介護専門職を繋ぐ）研修 5-2 IPE（地域医療・介護支える多職種を繋ぐ）研修
6 就職支援	6-1 履歴書・職務経歴書 6-2 模擬面接トレーニング

■教育プログラムに関するお問い合わせ先

千葉大学医学部附属病院 患者支援部

文部科学省「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」事務局 真原

Eメール： hmahara@chiba-u.jp 電話：043-226-2514

HP:https://peraichi.com/landing_pages/view/kaigoiryoudx